

資料—1

第2回委員会委員意見への対応状況

1. 第2回委員会委員意見への対応状況

平成25年3月13日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 第2回委員会委員意見への対応状況

・尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト（案）

No.	主な意見	対応状況
1	「プロジェクト」の取組内容を分かりやすい表現として頂きたい。	○事務局が修正した内容をアンケート調査、及び「さくらおろちを活性化する会」で確認いただいております、本委員会で承認を頂く。
2	行政側の大きな流れ（施策など）を十分に反映させたビジョンとすべきである。	○事務局が修正した内容を行政関係者へのアンケート調査で確認いただいております、本委員会で承認を頂く。
3	(1)-3『教育機関（大学等）との連携』『ボランティア』という表現より、「学修」という表現がよいのではないかと。	○事務局が修正した内容をアンケート調査、及び「さくらおろちを活性化する会」で確認いただいております、本委員会で承認を頂く。
4	上流部だけで策定・推進するのではなく、下流部の住民や団体とともに推進していく仕組みを検討していく必要がある。	●下流自治体（安来、境港等）へ広報紙の送付は実施済み。 ○今後、さらに下流自治体への働きかけを行う。 ○必要に応じて、下流関係者に「さくらおろちを活性化する会」へオブザーバーとして参加いただく。

●対応済、○対応中

・尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）ほか

No.	主な意見	対応状況
5	(12)-1『森林の利用促進』 ダム湖周辺の竹林の活用を、景観対策も含めて新年度から取り組んでももらいたい。	○景観阻害箇所などを、ビューポイント候補地として整理、検討を進める。
6	竹林伐採などは全くのボランティアではなく、皆が参加しやすいような仕組みを検討してもらいたい。	●「さくらおろちを活性化する会」に助成金等の情報を提供し、実施者が助成金等の活用を検討することとした。
7	(14)-2『レンタサイクルの実施』 奥出雲町の3拠点で、新年度実施に向けて計画しているため、先行プロジェクトとして位置づけてほしい。	●『レンタサイクルの実施』を先行プロジェクトとして位置づけた。 ○平成25度からの実施で準備中。
8	(16)-1『芝生広場等の利用促進』 広場の有効活用のため、運用管理を早急に考えてほしい。	○5～11月の土日、祝日に一般開放する方向で検討中。（県） （参考：昨年11月には土日の試験開放を実施）
9	(2)-2『リーダーの育成』 新たな人の発掘より、既存組織リーダーの勉強機会の提供や、既存リーダー間の連携の仕組み作りなどを重視すべきである。	○事務局で「リーダー研修」などの表現を追加し、アンケート調査、及び「さくらおろちを活性化する会」で確認いただいております、本委員会で承認を頂く。

No.	主な意見	対応状況
10	新規に 41 件のプロジェクトが提案されたが、実効性（実施体制、経費など）を再確認する必要がある。	●アンケート調査結果を踏まえ、行政間会議で調整後、「さくらおろちを活性化する会」に諮り、41 のプロジェクトのうち、1 年目に取り組む事項を整理した。

●対応済、○対応中

・広報の取組状況の報告

No.	主な意見	対応状況
11	県設置の、斐伊川・神戸川流域市町で構成する「斐伊川・神戸川流域市町連絡会議」を情報発信の場として活用してほしい。	○平成 25 年度の「斐伊川・神戸川流域市町連絡会議」で水源地域ビジョンや上下流交流の PR 等を行う。
12	湖面利用の手引きやマップについて、みざわの館や槻之屋伝習館などの地域資源の記載と、道路の位置などのチェックをしてもらいたい。	○「さくらおろちを活性化する会」、及び関係する行政機関等で地域資源の記載内容や道路の位置などを確認しており、本委員会で承認を頂く。

●対応済、○対応中